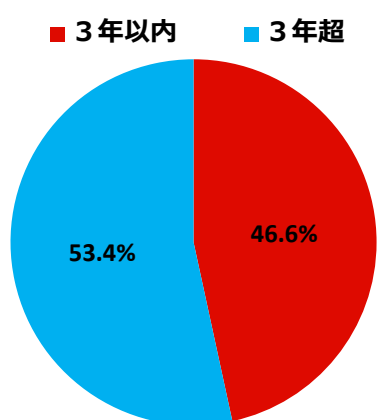


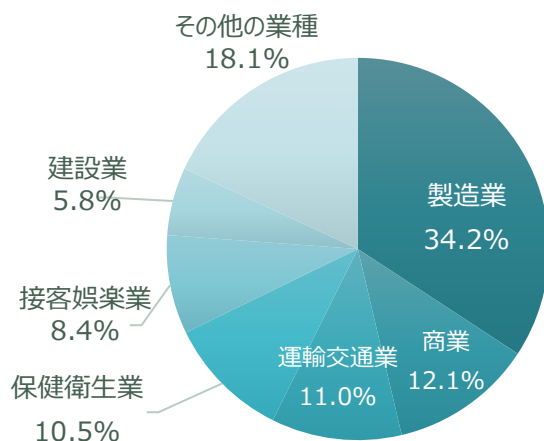
未熟練労働者の労働災害をなくそう!

経験期間3年以内の未熟練労働者は、作業に慣れておらず、危険に対する感受性も低いため、熟練労働者よりも労働災害の発生率が高い状況にあります。

令和6年に群馬労働局管内で発生した未熟練労働者（3年以内）による休業4日以上労働災害の死傷者数は、1,233人（46.6%）と全体の約5割を占めています。



未熟練労働者が占める労働災害発生割合(令和6年)
(出典:労働者死傷病報告)



未熟練労働者による業種別労働災害発生状況(令和6年)
(出典:労働者死傷病報告)

未熟練労働者の労働災害が多いのはなぜ？

作業に慣れていない

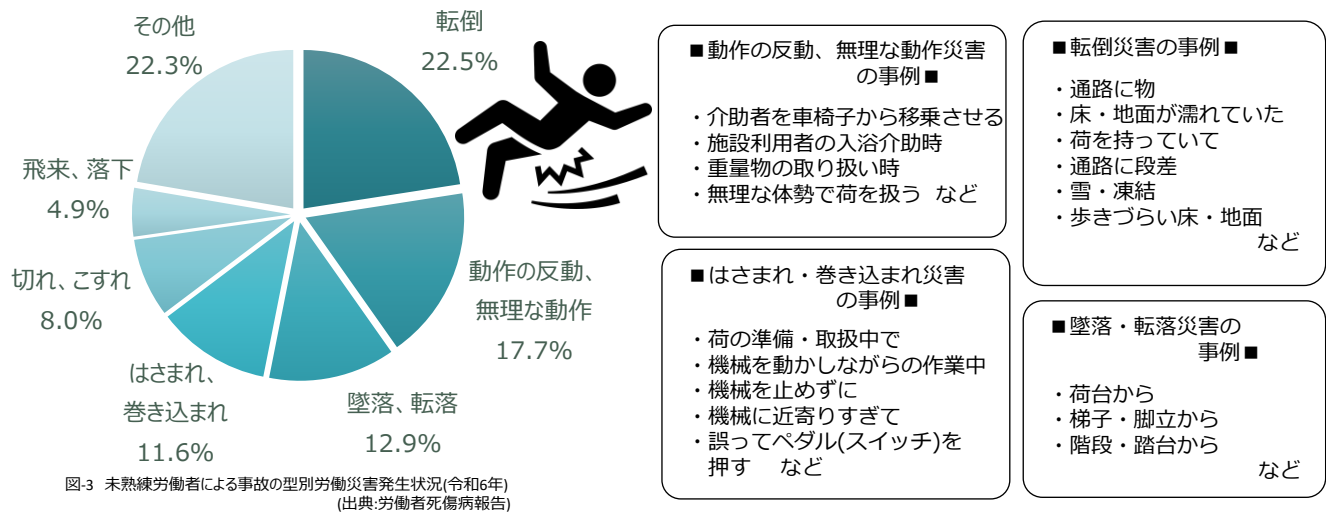
安全のためのルールを理解していない

「自分は大丈夫」と思い込む

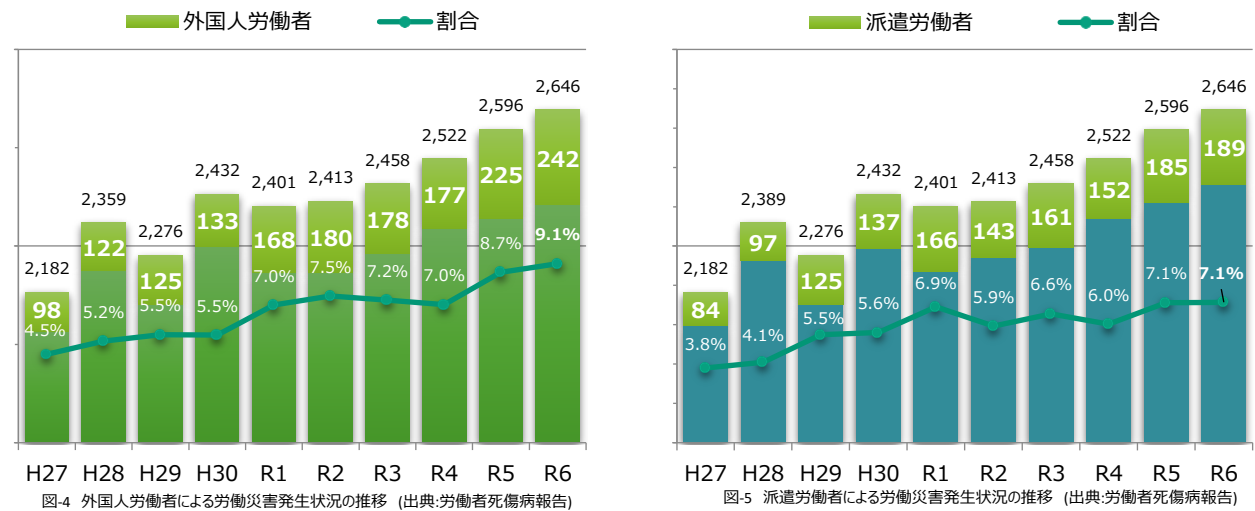
危険に対する感受性が低い

事故の型別では、「転倒」「動作の反動・無理な動作」災害の順で多く発生しています。

災害原因や災害防止のポイントを参考に対策を行いましょう。



未熟練労働者の災害には、外国人労働者（技能実習生を含む）の増加や、非正規労働者の増加も一因となっています。



労働災害防止のポイント

～労働者の皆様へ～

1. 雇入れ時等に受けた**安全衛生教育**を確実に守りましょう
2. 職場の**整理整頓**を実施しましょう
3. 機械のカバーは勝手に外さないこと
また、掃除等の際には機械の停止を必ず確認しましょう
4. 保護帽、安全靴などの**安全装備**は正しく着用しましょう

「いそがない・あせらない・おこたらない」

～事業主の皆様へ～

1. 雇入れ時や作業内容を変更し、新たな作業についたときは、労働災害を防止するための**安全衛生教育を必ず実施**しましょう!!
2. 「**危険の見える化**※」を推進しましょう

(※潜む危険を可視化し、知らせること)



※未熟練労働者に対する安全衛生教育マニュアル

